



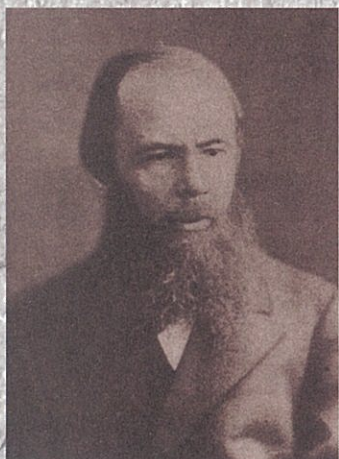
世界名作翻訳全集



シルレル



ヂューマ



ドストエーフスキイ

定本提供・編集協力 春陽堂書店

発行・発売 ゆまに書房

ラムボウ



世界の名作を昭和初期の

様々な訳で集成。

シリーズ第5弾！

■第Ⅴ期・全30巻■

全230巻
堂々完結

日本文壇に落雷の如き強烈な衝撃を与えた世界名作の紹介

島崎藤村の小説『春』の一節に

——「俺かい」と青木は不安な眼付きをして、「俺は考えて居たサ。」(中略)

「内田(魯庵)さんが訳した『罪と罰』の中にも有るよ、銭取りにも出掛けないで一体何を為している、と下宿屋の婢に聞かれた時、考えることを為している、とあの主人公が言うところがある。ああいうことを既に言っている人が有るかと思うと驚くよ。考えることを為している。——丁度俺のはあれなんだね」——

とある。

内田魯庵は明治二十二年の春、丸善に『罪と罰』が五部入荷したことを尾崎紅葉が話していたと聞いて早速購入した。その内の一は坪内逍遙が、もう一部は森田思軒が買った。その読後感想を魯庵は「宇宙の広漠なるを知て下宿屋一軒の中に千変万化の奇観あるを知らざるや」と記している。

さらに、二葉亭四迷は『罪と罰』を読んだ時、「あたかも広野で落雷に会って眼眩めき耳聾いたる如き、今までにかつて覚えないうその深さの感動を与えられた。」と述べている。当時、鷗外を始め多くの文豪は、世界の名作から大きな衝撃を受け、欧米の小説を続々と翻訳した。こうして日本の文壇はこれまで江戸末期の勧善懲悪・娯楽を主とした戯作小説主流から近代小説へ大きく変貌していくのである。

この度、弊社が春陽堂書店と協力して、昭和初期、春陽堂書店が世界名作文庫として刊行した世界の名作二三〇点を「再生」することとなった。今ではなかなか手にする事のできないため読者の再刊要望の声が多く聞かれる稀覯本や、当時の翻訳状況をうかがう事のできる貴重本等を当時の姿を残し復刻する運びとなった。これを機に近代日本文壇史や低

平成十六年一月

ゆまに書房

本書を

推薦します

横浜市立大学名誉教授

小野寺 健

昭和の初期の『円本』の登場が、出版界に革命を起こしたことはよく知られている。皮切りは、改造社が大正十五年から刊行した全三十八巻の『現代日本文学全集』。一卷一円という低価格で出版し、三十五万部という空前の売上を達成した。円本という呼び名は、当時、東京市内の乗車料金を一円均一として走るタクシーを「円タク」と呼んだことに由来するが、この全集、じつは私には特別の思い入れがある。文学よりむしろ哲学や社会学が好きだった父がなぜかこの全集を買いそろえておいてくれたおかげで、本のなかった戦争中の中学時代に片端からこれを耽読し、今ではその名を聞くこともない、しかし忘れたい多くの作品にふれることができたのだ。最近とつぜん復活した「真珠夫人」にとりつかれて徹夜で読みあげたばかりに、中学へ入って最初の幾何の試験に落第点をとったり、蘆花の「思ひ出の記」に魅せられて恋愛観の基礎を植えつけられたことなど、ほんの一例にすぎない。大げさないうとこうして私の人生を決定した円本の出現は、ちょうど英国の「エブリマンス・ライブラリー」のように、知識階級の大衆化、大衆文化時代の到来という、歴史的変化を占うものだったのである。社会には、さらに広い視野をもとめる読者の群が待ちかまえていた。

その欲求に応えたのが、『現代日本文学全集』について、文芸出版の老舗新潮社が昭和二年一月を期して刊行を開始した『世界文学全集』全三十八巻で、これは改造社の全集を上まわる五十万部の売上を記録した。「神曲」をはじめ、伏字だらけだった「デカメロン」「地獄」、その後はめったに出会わないラゲルレーヴなど北欧文学の数々、さらには新時代を告げる戯曲集までふくめた作品選択は、編集部意欲を窺わせるのに充分である。この翻訳全集が、日本人の想像力と精神の世界にどれほど斬新な趣味をもたらしたか、文学観にとどまらず文化全体を豊かにしたかは計り知れない。その訳文の多くがいまなお古びていず、むしろ味わいふかいことは一驚に値する。

だが、明治以来の翻訳には、ロシア文学などを典型的な例として、英訳からのいわゆる重訳が慣行として行われていて、この『世界文学全集』も例外ではなかった。

このたび復刊される春陽堂版『昭和初期世界名作翻訳全集』は、原則として重訳を排し、第一級の作家・翻訳家による原語からの「直訳」を多く収めているという。時代との関わりにおける作品の選択といい翻訳の技術といい興味津々だが、近代日本の文化に多大な貢献をした翻訳の歴史と意義を再考する資料として、その価値はきわめて大きい。

昭和初期

第V期／全30巻

全230巻
堂々完結!!

世界名作翻訳全集

※表示価格に消費税が加算されます。原著者名およびタイトルは原則として底本刊行時のものを採用、表記は新漢字歴史的仮名遣いとしました。()内は底本の発行年月です。

201 バンジャマン・コンスタン／新庄嘉章・訳 (昭和九年五月)
アドルフ……………本体 3,900 円

202 ゴッゴリ／中山省三郎・訳 (昭和二十四年九月)
外套 外一篇……………本体 3,900 円

203 バルザック／杉田次郎・訳 (昭和九年八月)
田舎の医者……………本体 4,900 円

204 メリメ／杉 捷夫・矢野常存・訳 (昭和九年三月)
ヴィーナスの殺人 外二篇……………本体 3,900 円

214 ブウシキン／中山省三郎・訳 (昭和二十四年九月)
スぺエドの女王……………本体 3,900 円

215 ゴッゴリ／原久一郎・訳 (昭和二十五年四月)
隊長・ブーリバ……………本体 4,300 円

216 ニイチエ／生田長江・訳 (昭和七年八月)
ツアラトウストラ 前篇……………本体 4,300 円

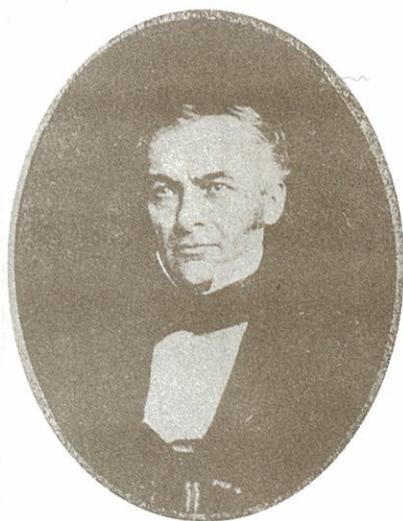
217 ニイチエ／生田長江・訳 (昭和七年八月)
ツアラトウストラ 後篇……………本体 4,300 円

218 チューマ／林 文雄・訳 (昭和十一年十二月)
椿 姫……………本体 4,600 円

219 アナトオル・フランス／森丘次郎・訳 (昭和九年五月)
天使の反逆……………本体 4,900 円

220 ツルゲネーフ／宮原晃一郎・訳 (昭和十年二月)
ハムレットとドン・キホーテ……………本体 3,900 円

221 ボー／森 鷗外・訳 (昭和七年八月)
病院横町の殺人犯……………本体 3,900 円



メリメ



ストリンドベルグ



コンスタン

四六判並製・カバー装

■全30巻揃定価 133,770 円 (本体 127,400 円)

◆平成21年4月 第V期・全30巻同時刊行

205 タゴール／宮原晃一郎・訳（昭和七年十一月）
運命の舟……………本体 4,900 円

206 シルレル／久保 栄・訳（昭和十一年十一月）
群 盗……………本体 4,300 円

207 ハウプトマン／森 鷗外・訳（昭和七年九月）
寂しき人々……………本体 3,900 円

208 ラムボウ／大島博光・訳（昭和十三年四月）
地獄の季節……………本体 4,300 円

209 ドストエフスキイ／中村白葉・訳（昭和七年十月）
死の家の記録 第一部……………本体 4,300 円

210 ドストエフスキイ／中村白葉・訳（昭和八年八月）
死の家の記録 第二部……………本体 4,300 円

211 ツルゲーネフ／原久一郎・訳（昭和二十四年十一月）
処女地（上）……………本体 4,300 円



ツルゲーネフ

212 ツルゲーネフ／原久一郎・訳（昭和二十四年十一月）
処女地（下）……………本体 4,300 円

213 ピエル・ロチ／岡野 馨・訳（昭和八年三月）
水 夫……………本体 3,900 円



アナトール・フランス

222 プリニャーク／米川正夫・訳（昭和七年九月）
北極の記録 外二篇……………本体 3,900 円

223 ドストエフスキイ／米川正夫・訳（昭和七年十二月）
未成年 第一篇……………本体 4,900 円

224 ドストエフスキイ／米川正夫・訳（昭和八年二月）
未成年 第二篇……………本体 4,600 円

225 ドストエフスキイ／米川正夫・訳（昭和八年二月）
未成年 第三篇……………本体 4,900 円

226 モリエル／石川 淳・訳（昭和二十三年三月）
モリエル集（一）ドン・ジュアン……………本体 3,900 円

227 モリエル／石川 淳・訳（昭和九年二月）
モリエル集（二）人間ざらひ……………本体 3,900 円

228 モリエル／石川 淳・訳（昭和九年十月）
モリエル集（三）タルテュフ……………本体 3,900 円

229 ストリンダベルグ／舟木重信・訳（昭和七年十二月）
ルッテル……………本体 3,900 円

230 ゴリキイ／蔵原惟人・訳（昭和七年九月）
私の大学……………本体 4,300 円



ジュール・ヴァン



ピエル・ロチ



ハウプトマン

昭和初期 世界名作翻訳全集 全230巻

※第Ⅰ期～第Ⅲ期（第1巻～第150巻）はオンデマンド版です。製作に2週間ほどお時間をいただく場合がございます。

■第Ⅴ期	全30巻	揃定価133,770円（本体127,400円）	2009年4月刊行	ISBN978-4-8433-3136-1 C0397
■第Ⅰ期	全50巻	揃定価169,050円（本体161,000円）		ISBN978-4-8433-1070-0 C0397
■第Ⅱ期	全50巻	揃定価228,060円（本体217,200円）		ISBN978-4-8433-1834-8 C0397
■第Ⅲ期	全50巻	揃定価222,915円（本体212,300円）		ISBN978-4-8433-2224-6 C0397
■第Ⅳ期	全50巻	揃定価223,125円（本体212,500円）		ISBN978-4-8433-2698-5 C0397

全230巻：揃定価976,920円（本体930,400円） ISBN978-4-8433-3167-5 C0397 四六判並製／カバー装

関連書籍のご案内

※詳細な内容見本を差し上げます。弊社営業部までご請求下さい。

文藝時評大系 全73巻 別巻(索引)5巻

●明治篇各18,900円（本体18,000円）／大正・昭和篇各21,000円（本体20,000円）
わが国独自の文学批評のスタイル、「文藝時評」の全容を初めて集大成。「文壇」の成立期から「文壇」と「文壇ジャーナリズム」が濃密な関係をもちえた昭和45（1970）年までの「時評」を網羅。別巻には詳細な索引を付す。

A5判上製

明治篇	全15巻・別巻	〔編・解説〕中島国彦
大正篇	全14巻・別巻	〔編・解説〕宗像和重
昭和篇Ⅰ	全19巻・別巻	〔編・解説〕池内輝雄
昭和篇Ⅱ	全13巻・別巻	〔編・解説〕曾根博義
昭和篇Ⅲ	全12巻・別巻	〔編・解説〕曾根博義

編年体 大正文学全集

●揃定価110,460円（本体105,200円） A5判上製
第一線の研究者が一年一冊を分担編集。新機軸の文学全集。【編者】
①中島国彦②竹盛天雄③池内輝雄④十川信介⑤海老井英次⑥藤井淑禎
⑦紅野敏郎⑧紅野謙介⑨松村友視⑩東郷克美⑪日高昭二⑫曾根博義
⑬亀井秀雄⑭安藤宏⑮鈴木貞美（別巻）宗像和重・山本芳明

全15巻・別巻

浦西和彦 監修 全20巻 新・プロレタリア文学精選集

●揃定価252,000円（本体240,000円） A5判上製
モダニズムの関連からも注目を集めるプロレタリア文学。現在、いずれの完本でも読むことが出来ない稀覯書を精選。各巻末に詳細な解説（作家紹介・作品の背景・歴史的価値ほか）と収録作家の著作目録（昭和20年まで）を付す。

長谷川啓 監修 全18巻 〈戦時下〉の女性文学

●揃定価247,800円（本体236,000円） A5判上製
昭和12年、日中戦争開始。昭和16年、太平洋戦争勃発。急激に変化する生活の中、戦争は女性に何をもたらしたのか？ 戦後の私たちの生を解きあかす、戦時下の女性文学の基本文献を集成。文学のみならず、女性学・近代史の研究にも多いに有益な選集。

長谷川啓・尾形明子 監修 全15巻 戦後の出発と女性文学
●揃定価220,500円（本体210,000円） A5判上製
終戦後、女性たちは何を語り始めたのか。戦前から活躍していた作家や終戦後にデビューした作家など、日本の女性がようやく自由を手にした10年間（昭和20年～29年）の作品を集成。〔主な収録作家〕大田洋子・佐多稲子・林芙美子・吉屋信子ほか多数。

発行・発売



〒101-0047 千代田区内神田2-7-6
TEL .03 (5296) 0491
FAX.03 (5296) 0493
http://www.yumani.co.jp/
e-mail eigyou@yumani.co.jp

取扱店

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。



0.03/01.7000H